令和２年７−９月期中小企業（製造業）

景 況 動 向 調 査 結 果

令 和 ２ 年 １ ０ 月 １ ５ 日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

１．調査目的　県内中小企業（製造業）における景気動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。

２．調査期間　令和２年９月１０日～令和２年９月３０日

３．調査方法　郵送調査

４．調査対象　県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の 500 社

５．回答状況　調査対象 500 社のうち回答を得られたのは 284 社で、全体の回収率は 56.8%となった。回答企業の平均従業員数は 53.7 人であった。

業種＼項目	調査数	回答		平均従業員数
		数	率	
食料品製造業	94 社	48 社	51.1%	63.3 人
繊維・同製品製造業	59	36	61.0	19.6
木材・木製品製造業	30	21	70.0	26.9
紙加工品製造業	32	18	56.3	19.0
窯業・土石製品製造業	62	47	75.8	37.2
金属･機械･プラスチック製品製造業	223	114	51.1	78.1
計	500	284	56.8	53.7

６．要旨

「新型コロナウイルスの影響続く、先行きへの不安拭えず」

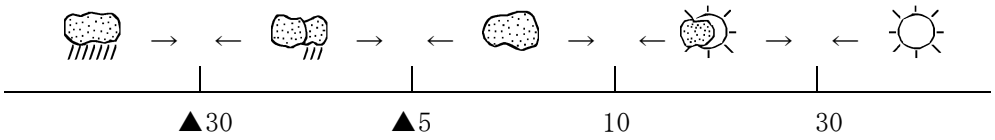
売上高と収益性を合せたＤＩ平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和元年 7-9 月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲62.9 となり、前回調査(令和 2 年 4-6 月期)の▲70.4 から 7.5 ポイント上昇している。来期見通しにおいては、6.1 ポイント上昇し▲56.8 となる見通しになっている。

全体の天気図は、3 期連続で「雨」となり、前回調査からどしゃ降りの様相が続いている。また、来期見通しにおいてもどしゃ降り状態の「雨」が続く見通しとなっている。【図表１】

【図表１】

	30 年		元年(31 年)				２年			来　期 見　通
	７－９	10－12	１－３	４－６	７－９	10－12	１－３	４－６	７－９	
全 体	▲11.0	▲5.9	▲19.5	▲16.7	▲18.5	▲27.1	▲38.5	▲70.4	▲62.9	▲56.8

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のＤＩ平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、８業種すべてにおいて横ばいとなっている。

横ばい…「食料品」　が継続。

「繊維・同製品」　が継続。

「木材・木製品」　が継続。

「紙・加工品」　が継続。

「窯業・土石製品」　が継続。

「金属・同製品」　が継続。

「機械・機器」　が継続。

「プラスチック製品」　が継続。

来期見通しにおいては、回復０業種、悪化１業種、横ばい７業種となっている。

悪　化…「窯業・土石製品」 が継続。

横ばい…「食料品」 が継続。

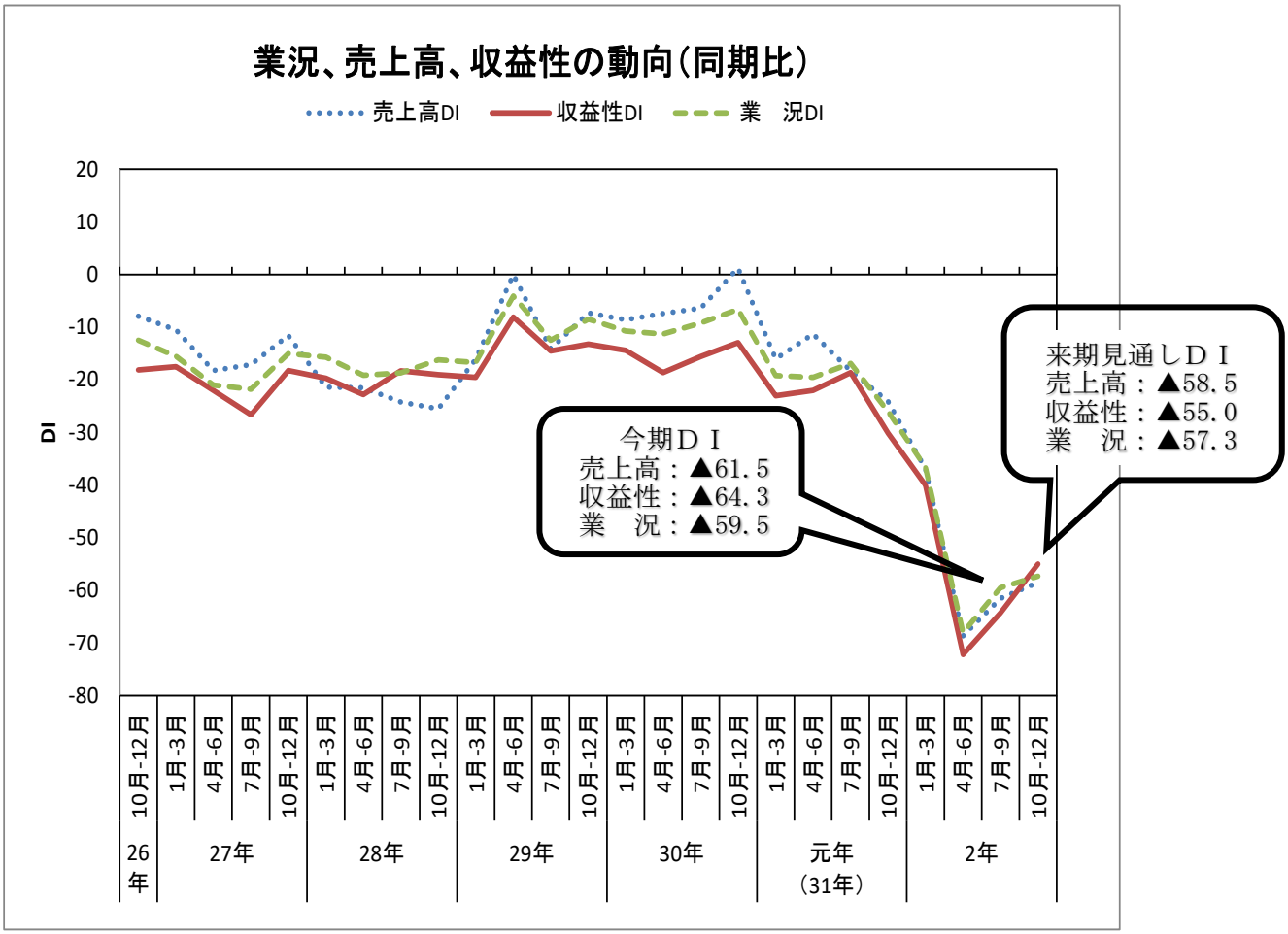
「繊維・同製品」 が継続。

「木材・木製品」 が継続。

「紙・加工品」 が継続。

「金属・同製品」 が継続。

「機械・機器」 が継続。

「プラスチック製品」 が継続。

【図表２】